

## あとがき

本学において、「学内成人式」を始めたのは、昭和六一年であった。「成人の日」は、周知の通り、戦後間もない昭和二三年に、「成人になったことを自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます日」として、国民の祝日の一つに加えられ、毎年一月一五日に、それぞれの地方自治体によって式典が行われている。しかし、本学では、その日の前日が、卒業論文や卒業制作の提出期限日になっているため、故郷での「成人式」に出席できない学生もいるであろうから、との前学長清水文雄先生の思いやりの心から、卒業学年の全学生を対象に、うちうちの「学内成人式」を行ってきたのであった。

学園としても、本学在学中に成人になったことを祝福し、細やかながら随想集『比治山の心』等を記念品として贈呈してきた。

『比治山の心』は、拙著『寸草心』の一節を抽出し、それに三つの小品を加えた冊子であったが、今回は、「比治山女子短大新聞」等に記載の一八編の小品から新たに

構成した随想集で、その名を『比治山の道』とした。比治山学園建学の精神にそった道標の一つにでもなれば、との願いからである。いつの日にか、諸姉の目にふれることがあれば、これに過ぐる喜びはない。

なお、前冊子同様、口絵をはじめ文中の写真は、長年の畏友村上光陽氏に頂いたものである。また、印刷に当たっては、毎度のことながら、柳盛社の諸氏のお手をわずらわせた。ここに改めて御礼を申し上げます。

平成五年一月三日

豊  
嶋  
睦